

# 中央社保協ニュース

13-19号 4月22日発行・中央社会保障推進協議会(TEL 03-5808-5344)

いよいよ正念場！「医療・介護総合法案」廃案へ国会に怒りの声を！  
「輝け！いのち 4・24ヒューマンチェーン行動」の成功へ全力を！



いのち削る「医療・介護総合法案」は撤回を。中央社保協・第2次国会前座り込み行動参加者。右手は激励あいさつする住江憲勇・代表委員(4/16衆議院第2議員会館前)

## 23日厚労委審議

「医療・介護総合法案」は、4月1日に衆議院本会議で趣旨説明がされ、4月23日(水)から衆議院厚生労働委員会で審議が始まるうとしていま

す。医療・介護に係る19本の法律を一

括採決するやり方をはじめ、医療・介護を自助と互助で支えあう制度に変え、憲法25条で明記されている国の責任を放棄する内容は絶対に許せません。この間の学習会などで、この法案の危険な内容が知られていく中で、各地で怒り

## 共同の取り組み

が広がっています。4月24日に開催される「輝け！いのち4・24ヒューマンチェーン」は、本田宏医師をはじめ、川島みどり日本赤十字大学客員教授、伊藤真美花の谷クリニックス院長と厚生労働省の委員も務めて来られた「認知症の人

と家族の会」の勝田登志子さんがよびかけて取り組み始める行動です。創立35年目を迎える「認知症の人と家族の会」は、この行動に合わせて、全国で「介護保険の改悪反対」の5項目署名を集めながら、各地域の会には4・24行動への参加を呼びかけています。

医療や介護を求めていることについては、日本医師会と同じ方向だ」と話し、集会へメッセージを寄せてくれました。看護協会も現場からはみなさんと同じ思いが届いていると地域における深刻な実態を共有しました。

## 地元議員へ要請

4月9日からは国会前座り込み行動・国会議員要請を、厚生労働委員会の開催日と合わせて開始。9日は8団体23人、16日は10団体32人の参加があり、18日は冷たい雨の中、8団体25人が座り込みました。各団体や地域でも学習・宣伝が広がっています。国会へ向けて、地域から地元国会議員への要請を強めながら、「いのちを守れ！医療・介護総合法案は廃案に！」の声を大きく広げていきま

日医メッセージ  
集会実行委員会では、日本医師会、日本看護協会、連合東京などにも直接申し入れや懇談を行ってきました。日本医師会の今村常任理事は「憲法25条の理念にそって医療・介護を保障することは、日本医師会の基本姿勢であり、ヒューマンチェーン行動が全ての人の対し、安全・安心の

連合東京は、14日の4・24実行委員会の巣鴨地蔵通り宣伝行動と同日に、巣鴨駅で「安心して暮らせる社会の実現 みなさんと共に！介護予防給付を区市町村へは問題がありません」のチラシ入りティッシュを配って訴えています。いま、「いのちを守れ」の共同を地域で大きく広げる時です。14日の巣鴨地蔵通り宣伝には39人が参加し、1時間で24筆の「医療・介護の改悪反対」の署名があたり、2千枚のティッシュ付チラシ

を配布、4・24ヒューマンチェーン行動への参加も呼びかけました。

**中央社保協**  
いこそう！憲法25条  
<http://www.k2stoso.com/>